

廃棄物最終処分場管理システム

(特許第3465184号)

廃棄物最終処分場管理システムとは、徹底した安全管理と積極的な情報公開を目的とした、住民と行政の相互理解を深めるための環境管理システムです。

概念

『安全性が見える形に！』

住民が出すごみと言っても何が埋め立てられているのか不安！！そういう声に、埋立不適物・危険物の除去を対象とした搬入管理の高度化を行うことで応えていきます。水質管理、騒音管理を含めた環境管理のシステム化を行っていきます。

『見栄え良く！』

最終処分場は汚い！！臭い！！そういったイメージを払拭するため、受入エリアや埋立エリアを常時映像で確認でき、それを発信するシステムを構築します。

『積極的な情報発信を！』

住民が抱く管理や安全性に対する不信感の高まりは、過去に十分な情報が得られなかったことに起因しています。今後は、埋立ごみの種類・量、浸出水処理施設の原水・放流水の水質等の安全性が確認できる情報を、積極的に発信することが求められています。

システムの概要

処分場出入口や仮置き場、埋立地などに監視用のカメラを設置します。埋立地では、水質測定装置、漏出検知システムなどの測定装置を設置します。これらを用い、環境への影響を常時測定し監視します。

カメラの映像及び観測データは、監視室に集められ、見学者室でも見ることが出来ます。また、ネットワーク経由で情報公開することで、処分場外の公共機関や個人のパソコン端末からの閲覧も可能です。

環境管理システムの具体的な常時監視対象箇所及び項目は、以下のとおりです。

【水質管理】

監視対象箇所：浸出水原水、浸出水放流水、地下水集排水管末端、下流部管理井戸
監視対象項目：pH、COD（又はBOD）、SS、塩化物イオン

【騒音管理】

監視対象箇所：最終処分場境界、搬入道路
監視対象項目：騒音レベル

【漏水検知】

監視対象箇所：最終処分場境界
監視対象項目：漏水発生箇所、発生量

